

alterna

サステナブル・ビジネス・マガジン

November 2020

62
抜粋版

エシカル消費
SDGsが幸^{けん}引^{いん}

[トップインタビュー]
星野 佳路 星野リゾート代表
ステイン・ヴァンデヴォースト ダノンジャパン社長
中井 徳太郎 環境事務次官
香川 照之 俳優 / Insect Collectionプロデューサー

サステナブルセレクション★2020発表

2020年10月30日発行 編集・発行人:森 摂 発行・発売:株式会社オルタナ 〒153-0041 東京都目黒区駒場1-26-10-304 電話・03-6407-0266 フックス・03-6407-0267 通巻第62号

非売品

alterna

2020年10月30日発行

編集・発行人:森 摂 発行・発売:株式会社オルタナ

〒153-0041 東京都目黒区駒場1-26-10-304 電話・03-6407-0266 フックス・03-6407-0267

非売品

■「サステナブル★セレクション2020」第2期募集中(無料)

「サステナブル★セレクション2020」第2期を募集しています。
★(一つ星)は無料です。ぜひご応募ください。



お申し込み

mail@alterna.co.jp

または右のQRコードから登録



■メルマガ購読者募集中、読者プレゼントも!

週3回(月・水・金)の発行です。オルタナ編集長・森 摂が、誌面に載せ切れなかった話、こぼれ話、イベント情報などを配信します。メルマガ限定の読者プレゼントも。

■購読のご案内

サステナビリティの最新情報を知りたい方に!
年間割引、送料込みの定期購読がお得です。
富士山マガジンサービスではデジタル版も展開しています。

オルタナ 検索

富士山マガジンサービス
0120-223-223
(年中無休・24時間営業)



■オンラインのご案内

オルタナ・オンラインや若者向け「オルタナS」、Yahoo!ニュースでも毎日サステナビリティに関する情報発信をしています。

オルタナ・オンライン
<http://www.alterna.co.jp>



オルタナS
<http://alternas.jp>



12月から有料会員サービススタート!

会員募集開始

過去から未来を読み解く

[特典] バックナンバー
読み放題
and more!

月額
990円
(税込)

問い合わせ先 株式会社オルタナ
東京都目黒区駒場1-26-10 ドミナーレサクマ304
✉info@alterna.co.jp ☎03-6407-0266

**Dari K
「プレミアム
チョコレート」**

**生産者を支える
独自の買取価格**

京都市に本店を持つ
チョコレートブランド
の「Dari K (ダリケー)」

ではカカオ豆の調達から製品化までの工程をすべて自社で行う。国際的な評価も高い。貧困支援としてカカオ豆を無条件で高く買い取るのではなく、高品質なカカオ豆を生産したら相場より2—3割高い価格で買い取るのが特徴。人気のプレミアム・チョコレート(10枚)は2200円。

**国産古家具
2千円台から**

家's(イエス、富山県高岡市)
はアップサイクルした国産
アンティーク家具のサブス
クリプションサービスを行う。職人が修理した50—
100年前の国産アンティーク家具を2000円台から
使うことができる。このサービスでは気に入った商
品を購入することもできる。その時には、サブスクリ
プションサービスで支払った金額を定価から引いた額で提供する。最短1ヶ月から利用可能。

**山櫻 「rikskog」
バナナから紙製ハンガー**

紙製品製造・販売の山櫻(東京・中央)は紙製のエシ
カルハンガーを取り扱う。紙は再生紙またはFSC
認証紙を使う。表面の化粧紙にはバナナの茎から
なるフェアトレードペーパーを採用、貧困と海洋
プラゴミ問題の解決に寄与。メッセージを書き込
めるのでギフトにも最適。レギュラーサイズ3本
セットで2145円。

**イトーキ
「地域材活用
ソリューション
エコニア フィア
Econifa」**

**針葉樹活用で
地域林業を支援**

オフィス空間などを手
掛けるイトーキは、家具
製作を通じた地域材活
用ソリューション「Econifa」を開発。日本の森林
の大半を占めながら家具に向かないとされる、針
葉樹を独自の技術と洗練されたデザインでテンブ
レート化した。地域材を使うことで林業振興に貢
献するほか、CO₂削減に寄与する。FSC CoC認
証取得、グリーン購入法適合製品。

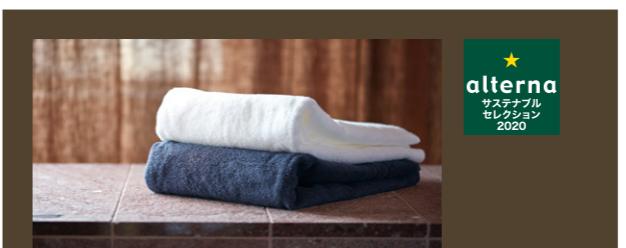
**「CO₂ネットゼロ」の家具
イトーキ
「nona」
チェア**

「nona」は日本国内でサプライチェーンを構築し、
輸送距離を短縮することでCO₂排出量削減につな
げる。部品点数も少なく設計された。さらに原材料
調達から廃棄・リサイクルに至るまでに排出する
CO₂を機種ごとに算定し、CO₂排出量100%を対
象にカーボン・オフセットを実施。排出権は事業拠
点のあるインドネシアの泥炭湿地保全・修復活動
で創出されるものを選定している。グリーン購入
法適合製品。5万6980円から。

オルタナ編集部が選んだ サステナブルセレクション★2020

サステナブルセレクション(オルタナ／一般社団法人CSR経営者フォーラム共催)は、エコ／エシカル／グリーン／サーキュラーエコノミーなど、サステナブル(持続可能)な手法で開発された製品／サービス／ブランドを選定して、ご紹介する仕組みです。「★」「★

★」はオルタナ編集部が選定し、最高位の「★
★★」は毎年10月に審査委員会を開き、厳正
な審査のもと決定します。「★」の募集は年4
回実施します。審査基準など詳
しくは、右のQRコードからオン
ライン記事をご参照ください。



IKEUCHI ORGANIC 「オーガニックコットン製品」

風で織る エコタオル

IKEUCHI ORGANIC(愛媛県
今治市)では有機栽培綿を使用
したタオルなどの衣料品を製
造している。赤ちゃんが舐めても安全なレベルの
国際認証を取得し、電気は風力発電で調達してい
る。原綿の調達は事前に取り決めた量を買い取り、
同じ調達先から一定量を長期間買い続ける。各商品
に貼付されているQRコードを読み取ると製造
情報を知ることができる。



みんな電力 「顔の見える電力」

顔の見える エコな電力

全国各地の再生可能エネル
ギー生産者と消費者をつなぎ、
「顔の見える関係」にこだわり
電力を供給している。再エネ比率(電源構成)は約8
割と業界トップクラス。太陽光、風力、地熱など各
地の発電所の魅力をウェブサイトで発信し、消費者
が直接電力生産者と交流する「発電所見学ツアー」
を実施している。ブロックチェーン技術を活用し、
発電源を特定した電力供給にも取り組んでいる。



国産竹の箸 日本の食卓に

熊本県南関町に拠点を構え
るヤマチクは1963年の創
業以来、日本で唯一国産の
竹だけで竹箸をついている。安価な木材やプラス
チック製の箸が主流になる中で、自社ブランド
「okaeri」(2本1430円)には、「竹箸をもう一度日
本の食卓へ」という意味を込めた。放置竹林の問題
を解決するには、竹を資源として認識することが
重要だと訴える。



パンの缶詰で 途上国を支援

パンの缶詰「救缶鳥」を約
6ヶ月の賞味期限を残した
状態で購入者から回収し、
NGOなどと連携して途上国や被災地域に支援物資
として寄贈する取り組み。独自のリマインダー機能で
食品ロス削減にもつなげる。2019年は6万1503個
の救缶鳥が国内外に届けられた。プロジェクトに参
画する購入者や企業には毎月、活動報告が写真付き
メールで配信される。15缶セット1万1340円。



アーバンリサーチ
「compost」

廃棄衣料に新しい価値を アーバンリサーチが展開する廃棄衣料のアップサイクルブランド。素材の分別が難しい廃棄繊維を色ごとに分けてリサイクルする研究を行う「カラーリサイクルネットワーク」との協働で、新素材と新製品を研究開発。NPO法人「暮らしづくりネットワーク北芝」と協働し、同ブランドの素材・製品の生産過程で障がい者や高齢者、乳幼児がいる人など就労困難者や地域住民を雇用している。



CRAZY KITCHEN
「サステナブルコレクション」

社会課題を「ご馳走」に 市場に出回らず廃棄されてしまうことが社会課題となっている未利用魚や害獣を使用したケータリングサービス。メニューには引退した競走馬などの馬ふん堆肥で育った岩手県八幡平産のマッシュルームや害獣が問題となっている石川県産イノシシのグリル、後継者不足で悩む棚田米(新潟県産)などがある。環境負荷削減のため、プラスチックではなく木製の箸などを採用した。

生ごみが「美味しい」野菜に



ローカルフード
サイクリング
「LFCコンポスト」



LOOB JAPAN
「LOOBのジュースパック製品」

比国容器ごみ アップサイクル

フィリピンのNGOである「LOOB(ロオブ)」はパナイ島イロイロ市にあるごみ処理場からリサイクル可能なジュースパックを回収し、バッグやポーチなどにアップサイクルしている。生産者はごみ処理施設の近くに住むインフォーマルセクターの人々。生産者のキャパシティ・ビルディングを行いながら、毎月一定額の製品を購入することで、生産者の生計の安定を図る。

人と環境に配慮した洗剤



サラヤ
「ヤシノミシリーズ」

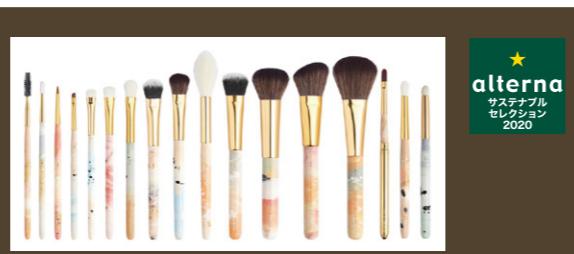
洗剤による水質汚染が問題視されていた高度経済成長期に、サラヤは環境負荷が少ない植物系食器洗剤「ヤシノミ洗剤」を開発。無香料・無着色で、排水は微生物によってすばやく分解される。原料となるパーム油の持続可能性にもこだわり、同社は2005年1月、日本企業として初めてRSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟。ヤシノミシリーズを含むすべての自社製品(国内販売)でRSPO認証を100%取得している。



ボーダレス・ジャパン
「ハチドリ電力」

再エネ増やす 独自の販売設計

環境負荷の削減とNPO支援を同時に実現した電力サービス。再エネ指定の非化石証書(FIT)を100%全量分購入することで、実質100%自然エネルギー由来のCO₂排出量ゼロの電気を提供する。電気代の1%が既存の建物に太陽光パネルを設置して自然エネルギーの発電所を増やすための基金に、もう1%がNPO(約40団体から選択)への寄付となるユニークな仕組み。



ティリスインターナショナル 「JACKS beauty line」

動物毛を使用しないブラシ

アニマルウェルフェア(動物福祉)の観点から動物毛を一切使用せず、高品質な合纖毛を採用したマイクアップブラシ。マイクアップアーティストのミリアム・ヤックスが立ち上げた。獣毛アレルギーの人も安心して使用でき、雑菌が繁殖しにくく、獣毛独特の香りもない。ブラシの柄にはハンドペイントが施されたリサイクルウッドを使用している。



アフリカの伝統 アパレルで表現



DOYA
「CLOUDY」

アフリカの民族柄、伝統の織などを取り入れたアパレルブランド。フォーマルなシーンにも映える今までにない「アフリカンテイスト」が魅力。高品質の商品を作り出すと同時に、収益の一部をアフリカでの雇用支援や教育支援、健康促進活動に充てる。障がい者やシングルマザーといった社会的弱者を積極的に支援し、年間100人を超える新規従業員を雇用している。5000—1万5000円。



山陽製紙
「PELP!」

紙を捨てずに循環させる 「捨てず、燃やさず、めぐる紙」。オフィスなどでの不要なコピー用紙を専用の回収袋「PELP! BAG」に詰めて宅配便で送ると、再生紙をへてオリジナルの名刺や封筒などのオフィス用品、ライフスタイル雑貨にアップサイクルされて戻ってくる。捨てられる前の紙より価値の高いものをつくることで「循環型社会への貢献」という理念を体現し、その輪を広げるさきがけとなるサービスだ。



IDEK
「HWシリーズ
パイロットライト」

業界初の6色LED HWシリーズ パイロットライト(表示灯)は、LED球を使用することでCO₂削減に資するとともに、業界で初めて一つのLED球で6色を表現できるユニットを開発。これまで必要だった5色のLED球から、大幅な省資源を実現した。新LED球は、従来より鮮やかな色で視認性がアップすると同時に、カラーユニバーサルデザインに対応し、色覚の個人差を問わずできるだけ多くの人が識別できる安全色に対応している。



ワイズ・ワイズ
「フェアウッド
100%の家具」

地域木材から 高品質家具

ワイズ・ワイズは、2009年からフェアウッド(伐採地の森林環境や地域社会に配慮した木材・木材製品)100%による家具、インテリアづくりに取り組む。地域木材を使い、地域林業の活性化を促進。ESGを経営理念に掲げる企業と自治体や地域事業者を結び、地域が抱える課題解決も行う。NGOと組みフェアウッド勉強会や子ども向けの木育授業も開く。6万円から。



海外事例
エアレンデー
「ストーンウェア」

ストーンウェアで就労支援

生活雑貨の英ブランド「エアレンデー」は、原材料の調達も製造もほぼすべて英国内で行っている。商品の1つ、ストーンウェア(炻器)は南西部のグロスター・シャー州で居宅生活支援を受ける学習障がい者の手によるものだ。ほかに自閉症者、精神疾患から回復しつつある人、人身売買の被害者などが作り手。工芸品を作る作業は、自尊心を身に付け、社会から求められる存在だという意識を育む機会になっている。



海外事例
Tense
木製腕時計

再生木材の腕時計

1971年創業のカナダの木製腕時計メーカー「Tense(テンス)」は、100%リサイクルまたは再生木材を使用した木製の腕時計を一点一点手作りしている。ムーブメントには日本製のMiyataや、スイス製のプレミアムRondo 6004Dを使い、環境に配慮しながらも、質の高い腕時計を生み出している。事業は家族経営で現在も創業者であるケン・P・ラウ家族が運営している。



ウルシネクスト
「漆のプラスチック
フリーカード」

「漆」のカード ICにも対応

漆と木綿という天然素材だけで作られたカード。漆が持つ天然の抗菌作用で、衛生面でも安心して使用できる。ガラスとほぼ同じ硬度があり、十分な強度と耐久性がある。徐々に風合いが増して美しく経年変化していくので長く使え、廃棄物削減にもつながる。UV印刷やICチップの埋め込みも可能だ。2000—5000円。



親子で料理を楽しむキット
ベネッセコーポレーション
「Kit Oisix withしまじろう」

ベネッセの「こどもちゃれんじ」と食品宅配サービスの「Oisix」が、親子で料理を楽しめるミールキット「Kit Oisix withしまじろう」を共同開発。食材に加えて「オノマトペミニ絵本」も提供。オノマトペ(擬音語)で食材の特徴や調理工程が記載されているので、子どもも楽しく具体的に「食」にかかわる設計になっている。



エコカップで プラ削減を

アサヒビール
「森のタンブラー」

アサヒビールとパナソニックがパルプ成分を55%以上含んだ「森のタンブラー」を共同開発し、使い捨てカップのリデュースを促進。自然な質感で、高強度、耐熱性、植物繊維の凹凸構造でビールの泡をきめ細かくするといった特徴を持つ。原料に社有林の間伐材などを使用するほか、北海道下川町の「トドマツ残渣」を活用し、商品化する予定もある。



ソーシャルアクション
カンパニー
「actcoin」

社会性を価値に
コ印トーク
actcoinのユーザーはボランティアや寄付など社会貢献活動をするとプロックチェーンでコ印トークンが付与される。現時点では、コインを換金したり、コインでモノを購入したりすることはできないが、将来的には1コイン1円でNPOへの寄付やエシカルなグッズと交換できるようにする予定。SDGsにまつわる行動を習慣化させる機能もある。



ドツジャパン
「Fibre」

アクセサリーで
女性の自立支援
ベトナム中部で女性の自立支援を行うために生まれたアクセサリーブランド。職業訓練を通じてアーティザンを育成し、アクセサリーという夢のある製品の仕事に就くことで、自尊心の低かった貧困家庭の女性たちに誇りをもって働いてもらえる環境をつくり出す。売り上げの一部は貧困地域の子どもたちの奨学金などに充てられる。2000—1万5000円。



クリエイティブ・シェルバ
「江戸仕立て
都うちわ千鳥型」
(千鳥うちわ)

「伝統」と「福祉」を連携

こだわりが強く、反復作業が得意という障がい特性のある若者たちが、「江戸仕立て都うちわ千鳥型(千鳥うちわ)」の最後の職人に技術伝授をしてもらいながら、製品を仕上げている。「伝福連携(伝統と福祉の連携)」を体現する商品だ。製品パートを3つに分け、工程を分解して各作業が得意な福祉施設で業務を担う。1万800円。

※価格はすべて税込

SUSTAINABLE★SELECTION[★(一ツ星)第2期]

オルタナとCSR経営者フォーラムはこのほど、サステナブル★セレクション[★(一ツ星)第2期]の公募・選考を行い、4製品／サービスを「★」に認定しました。★の認定を受けた製品／サービスは、3月以降に開催する上期／下期審査会への参加を経て「★★」の認定

を受けることができます。★★は、選定基準に「企業としてサステナブル／エシカルな取り組みをしているか」が盛り込まれます。今後のサステナブル★セレクションの開催概要は右のQRコードからオンライン記事をご参照ください。



mymizu

「意識」だけではなく、「行動」に繋がる
mymizuチャレンジ

一緒にSDGs、取り組みませんか？



mymizu.co/challenge



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



体にも優しい 竹の歯ブラシ 三重県伊賀市で作られた竹由来の歯ブラシ。ヘッドや柄のサイズ感が日本人に馴染みやすい設計だ。柄には、ポリ乳酸樹脂と竹の微粉末をブレンドした天然由来の素材を使用。ブラシには自己摩耗性がある天然毛(豚毛)を採用し、歯のエナメル質や歯茎を傷付けず、歯間にもなじみやすい。長い期間が経つと生分解が進んで本体がもろくなるため、使用期限は2年間。



「デジタルグリッドプラットフォーム(DGP)」

民間電力取引で再エネ普及 東大発の「DGP」は再エネ電源をはじめとした電源と電力需要をピアツーピア(P2P)で結び付ける、日本初の民間電気の取引所だ。限界費用ゼロの再エネを普及させ、電力料金を引き下げる。株主50数社の大企業需要家を結び、地方での再エネ発電で地域に産業と雇用創出にも取り組む。地域で電力の自給自足が可能となり、災害時の停電被害を減らすことにもつながる。



雇用と森を生む 木のおもちゃ 東京・檜原村で伐採・搬出した原木を村内で加工して作ったスロープのおもちゃ。枝や幹など建築材として流通しない部材を使い、立木1本当たりの価値を上げて、林業の活性化や産業振興に貢献する。工房では地域の20～70代が製作に携わり、人口流出が進む村内で新たな雇用も生み出す。売り上げの一部は同社が管理するFSC認証を取得した山林の整備に充てている。



国産廃材の割箸で 地域共生目指す 国産材の建築余材として廃棄されてしまう端材や、健康な森を維持するために伐出した間伐材を活用して生まれた割箸。製造は各地域で社会福祉法人が運営する工場が担い、製造・販売を通じて社会福祉法人と連携しながら、地域共生社会を目指している。木材を伐出した地域、加工した工場など製品のトレーサビリティを消費者たちに開示して売られている。

イーバー Yper 「OKIPPA (オキッパ)」

再配達防ぐ簡単宅配ボックス

OKIPPAを使うことで再配達を無くし、配達で生じるCO₂削減と環境負荷や労働の負担低減に貢献しつつ、非対面受取も可能に。衣料廃棄物でできた再生リサイクルポリエステル製のバッグの普及で環境負荷も抑える。OKIPPAは場所・工事が不要、手のひらサイズに折り畳め、ドアに固定してぶら下げるだけ。置き配保険や専用アプリの配送通知で安心も。販売数16万個。

one visa for 行政書士 β版

ワンビザ one visa 「one visa for 行政書士」

煩雑な入管業務を速く・正確に

入管業務をオンライン化し、ビザの申請情報の収集、書類の自動生成、申請状況の可視化などのサービスを展開。外国籍人材が移住する上で直面する課題の解決を目指した。本サービスに行政書士、企業、外国籍人材の3者がログインし、最新情報を確認できるほか、面談の時間が充実することで精度の高い提出書類を作ることができる。

キミカ 「アルギン製品シリーズ」

漂着海藻が生み出す天然食物繊維

アルギン酸は海藻のネバネバ成分からつくられる天然の食物繊維。食品、医薬品、化粧品などの原料として幅広く活用される身近な素材。キミカのアルギン酸は、固くて食べることができない南米チリの漂着海藻を原料に、環境配慮型の独自製法で生産されている。他に使い道のなかった漂着海藻に価値を見出することで、チリ漁民の生活水準を飛躍的に向上させたほか、アルギン抽出後の海藻残渣は肥料としてチリの農家に無償提供されている。

alterna SUSTAINABLE SELECTION 2021

カエルデザイン 「カエルデザイン」

海洋プラスチックをアクセサリーに

デザイナー、アクセサリー作家、クリエイティブ・ディレクターの3人からなる「カエルデザイン」が、障がい者の就労支援施設と共同で取り組む。海岸で集めたプラスチックを手作業でイヤリングやペンダントなどのアクセサリーにアップサイクルする。当初は金沢の海岸で回収していたが、現在は全国14都道府県の団体や個人から届く海洋プラスチックも対象にしている。

alterna SUSTAINABLE SELECTION 2021

アルタレーナ 「QoFFEE by rio coffee (コーヒーバイ リオコーヒー)」

味と生産背景を見える化

生豆の買付価格を相場の2倍以上とする独自の基準を持つ。再生プラカップを利用し、兵庫県芦屋市の間伐材で作られたトレーで提供。カップのQRコードを読み取ると、「誰が」「いつ作った」「どんなコーヒーか」などのストーリーが読み込める。美味しさを記録できる機能もあるので、消費者の満足度を可視化できる。生産者に伝えることで「おいしさでつながる循環システム」を構築。

オルタナ編集部が サステナブル★セレクション2021 推奨する

サステナブルセレクション(オルタナ／一般社団法人CSR経営者フォーラム共催)は、サステナブル(持続可能)な手法で開発された製品／サービス／ブランドを選定して、ご紹介する仕組みです。「★」は製品／サービス／ブランドそのもの、「★★」の応募は任意で、組織とし

alterna SUSTAINABLE SELECTION 2021

大阪ハニー 「financier And Honey」

国産生ハチミツの自然派スイーツ

加熱処理をしない国产ハチミツを使って、自然のままの色や香り、味を生かしたオリジナルスイーツを製造。都市養蜂事業「NPO法人梅田ミツバチプロジェクト」を支援し、大阪市内での採蜜を通じた地域の緑化環境づくりに参画。ミツバチが育つ環境は安心と安全の指針になり、自然と寄り添う都市養蜂の生産現場を維持することで、まちづくりに寄与する。

てサステナブル経営を推進しているかどうかをオルタナ編集部が選定します。最高位の「★★★」は毎年10月に開かれる審査委員会で決定します。「★」の募集は年4回実施します。詳しくは、右のQRコードからサイトをご参照ください。



SMASELL

ウィファブリック 「SMASELL(スマセル)」

シェアで「衣類ロス」解決へ

衣類の滞留庫を持つサプライヤーと、製品を必要とするバイヤーをつなぐ卸売・仕入れのマッチングプラットフォーム。1千社以上のサプライヤーと約2万5千人の会員がいる。廃棄されるB品や返品、レンタルで使われた古着などを取り扱い、世界で年間228億着が廃棄される「衣類ロス」問題に取り組む。

若者向け和装 「粹る」を訴求

コール巧流 「巧流-call-」

職人の家系で生まれた20代の兄弟が設立した。和裁士の文化継承を目指した若者向けブランドである。消費者に「粹る」というこだわりをもって購入してもらい、長期的に使用してもらう「エシカル消費」を広げたいという思いを込めた。布を直線に裁断し、縫いの技術で仕立てる着物は、別の製品に作り直したり、仕立て直して次世代に受け継いだりできることが特徴だ。

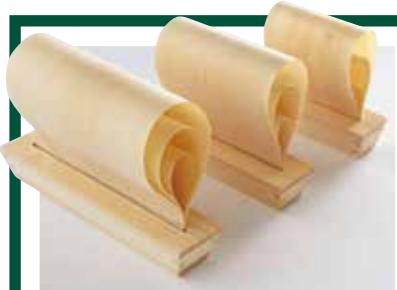


トヨタ自動車
「Toyota Green Wave Project」

生物多様性も 自然共生も

地域ごとの「いい町・いい社会」の実現に向けて、自然保全活動の輪を地域や世界と

つなぐ3つの活動を展開。その一つ「トヨタグリーンウェイブプロジェクト(GWP)」では、生物の生息域保全など自然共生活動に取り組む。活動を開始した2016年から、オールトヨタ自然共生ワーキンググループに参画する22社を中心として、生物多様性に寄与するサステナブルな社会づくりを目指す。



大橋量器
「エコ加湿器
マスト」

地域木材で空気を 潤す加湿器

長野県木曽地方や岐阜県の東濃ヒノキを材料にしている。サ

イズの都合で建築材としては使えない端材を仕入れるほか、生産地の近郊から仕入れることで、地域経済の活性やCO₂の排出削減を目指す。マストは電気を使わず、水を注いで置くだけの自然化式。枠を作る際に出る「かんなくず」でできたフィルターが水を吸い上げ、ヒノキの香りとともに空気を潤す。



モリト
「C.O.R.E.」

廃漁網を身近な 樹脂製品に

海洋プラスチック問題の一つである廃漁網を原料としたアパレル副資材

や雑貨などの樹脂製品を作っている。海の生態系に影響を与えるプラスチックゴミの4割以上が廃棄された漁網だ(環境省調べ)。廃漁網を身近な製品に加工することで、海洋汚染問題に取り組む。金属付属品の製造工程では水・化学薬品・電気などの資源の使用を削減し、汚染物質の排出を抑える。



V系×エシカル 伝統と環境支える
ネオエシカルファッショングラン
「兆-KIZASI- MADE WITH JAPAN」

フェアトレードオーガニックコットンの生地と、オーガニックコットン製のミシン糸からなるオリジナルブランド。京都の伝統技術「京黒染め」でデザインを施し、伝統技術の継承も支える。サプライチェーンの人権を守り、適切な労働環境やトレーサビリティを保証するbioRe COTTONや、CO₂削減につながるコンポストによる梱包材を導入。



トラスト 「ウィズスクエア福岡」

SDGsなレンタルオフィス

社会起業家を対象としたレンタルオフィス。多目的スペースやスタジオとしての利用も可能で、SDGsやソーシャルグッドに興味がある事業者のコミュニティの拠点を目指している。社会課題解決型の事業に取り組む人にオンラインでの相談会や講座を開催。運営会社のトラストは、「ユヌス・ソーシャル・ビジネス・カンパニー」として認定を受けている。



生分解性ラップ 食口ス削減も

ティーム
(ビーエコラップ・ジャパン)
「Bee Eco Wrap/
ビーエコラップ」

ミツロウとホホバ油、木の樹脂をブレンドし、GOTS認証のオーガニックコットンに浸透させて作られた生分解性のラップ。従来のラップの代わりに使うことで、プラスチックや石油製品の消費削減に貢献することができる。エコプリントで生地を印刷する、ハチに負担をかけない方法でミツロウを採取するなど、環境への配慮にこだわる。



h.LAB
「Clean & Refresh
Hand Care Mist」

人・環境をケアする ハンドミスト

アイテム(化粧品)。主成分であるサトウキビ由来のオーガニックアルコールは、原産国の農業従事者への公平な賃金、生活、教育の改善を目指したフェアトレード認証原料。その他成分も動物実験を行っていないオーガニック認証原料のみ採用。売上金の一部を、国連WFPを通じた食糧支援にも。



リエートス事務局
リエートス
「ReEthos」

社会起業家の挑戦を後押し
「社会課題に挑戦できる居場所づくり」「社会起業家の育成」「協力して課題を乗り越える」——をポリシーとして社会起業家の支援やコミュニティ運営を行う。毎月セミナーを開き、ソーシャルビジネスやSDGsを啓発するほか、実装段階に入った個人・企業にコンセプト立案、事業計画からマーケティングなどの観点で支援する。福岡にあるが、タイや関東圏などの事業者とも連携している。



ウテナ
「ゆず油」

高知県北川村のゆずの種から抽出したオイルを使用。数滴でトリートメント、ティースプーン数杯の量でヘアパックや頭皮マッサージにも使え、複数のケアをゆず油ひと瓶でまかなえるのが特徴だ。包装にはFSC森林認証紙やリサイクル率の高いBINを採用。後継者不足に悩む地方自治体の活性化に協力し、地元小学校向けにオンライン授業も行っている。

パイナップルレザーで商品展開



ラエステレン
「LAERSTERENN」

ヴィーガン素材として注目を集めるパイナップルレザーを使った商品を展開している。顔料にもオーガニック素材を使い、動物福祉と環境負荷に配慮した製品を作っている。縫製は国内で行い、公正な生産体制を維持する。梱包もプラスチックフリーを徹底し、オーガニック素材を使った巾着などを採用。同代表はSDGsなどの勉強会を通じて、購入者に分かりやすく透明性のある情報開示を行っていることも特徴の一つ。

Craftlink
クラフトリンク

alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

シャプラニール＝市民による海外協力の会
「クラフトリンク」

生産者と消費者を手仕事でつなぐ

石けんのオリジナルブランド「She with Shaplaneer」では性産業に従事せざるを得なかった女性たちに仕事の機会を提供するなど、クラフトリンクの手工芸品づくりが三度の食事や子どもの教育といった生活向上のほか、生産者のエンパワメントにつながっている。現地の生産団体と連携し、生産者と日本の消費者間のより良い関係構築を目指す。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

**大栗紙工
「mahora」**

発達障がい者でも使いやすいノート

発達障がい者の中には既存のノートを使いつらさを感じる人がいることを知り、製品開発が始まった。当事者に聞くと、「白地だと紙の反射がまぶしい」「薄い罫線で行が分かりにくい」といった声があった。試作を重ね、色は優しい色合いのレモンとラベンダー、罫線は行が分かりやすい「あみかけ罫」と「太細交互罫」で、誰でも使いやすいノートを作り上げた。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

ハンドタオルでサンゴ礁再生

ブランシェス
「サンゴの森
『ECO今治サンゴタオル』」

従業員が沖縄の海でサンゴの大量白化を見たことがきっかけで、サンゴ礁の再生活動を開始。2010年以降、ハンドタオルの売り上げの10%を寄付している。販売枚数は1万6341枚、植えたサンゴは社内ボランティアで植えたものと合わせて268株に上る。3月5日の「サンゴの日」に新発売したサンゴタオルは、パイル部分を「ケナフ30%使用」から「オーガニックコットン100%」に変更。全国のブランシェス店舗やオンラインショップで購入できる。

HAPPY TERRACE

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

**児童発達支援
「ハッピーテラス」**

放課後等デイサービス
「ハッピーテラスキッズ」
就労移行支援
「ディーキャリア」

発達障がい者の経済的な自立を

発達障がい児・者の将来的な経済的自立を目指し、児童発達支援のほか、放課後等デイサービス「ハッピーテラスキッズ」、就労移行支援「ディーキャリア」などを運営。0歳児から大人まで、年齢で分断されがちな福祉支援の場を一貫して提供している。全国の地域密着型のパートナー企業と連携し、35都道府県で181事業所を運営するほか、IT特化型の支援事業を4拠点で展開する。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

**染織工房 空蝉
-utsusemi-
「エシヌ」**

植物染料の手染めマスク

奈良時代から続く草木染めで、コットン素材のマスクなどの製品を一枚一枚手染めしている。マスクのアジャスターにはなめし革、パッケージにはコピー用紙のアップサイクル素材「PELP!」を採用。身近な素材から纖維を探り出して織る、野山の草木で染める、その色や效能、歴史を学ぶワークショップを通じて、食育ならぬ「服育」を普及させる活動も行う。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

**アムリターラ
「ハイビスカス チーク
(パウダリー)」**

沖縄のハイビスカスをチークに

メイクアップ製品に使われる合成着色料(タル色素)や、カルミン、コチニールをはじめ、石油由来成分を一切使わない100%天然由来のチーク。沖縄・宮古島の在来種「あかばなあ」というハイビスカスが原料だ。売り上げの一部を「サンゴの森基金」に寄付し、沖縄のサンゴ礁の再生や保護活動、サンゴ培養植付け、保護技術の確立に使われる。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

**アムリターラ
「インディゴ バランシング
ソープ」**

日本の「藍」で昔ながらの石鹼

国内最大の藍の生産地、徳島県のタデ藍を使用し、昔ながらの製法を継承した石鹼作りを行う。減少傾向にある藍農家と直接契約することで地域振興につなげる。植物オイルはすべてオーガニック、シアバターはフェアトレードで調達。50℃前後の温度で時間をかけて熟成させる「コールドプロセス製法」は、原料に含まれる成分を壊さない必要最低限の熱だけを加える製法だ。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

**ハートツリー
「きのかみ」**

吉野杉の折り紙で「木育」を

吉野杉を原材料とし、折ったり切ったりすることのできる新感覚の「木の紙」。これまで捨てられていた端材をおもちゃにするプロジェクトの一環で開発された。折り紙や工作の資材として、吉野杉の木目、香り、手触りを五感で楽しむことができる。木を0.1ミリ位の薄さにスライスし、紙と張り合わせる技術で作られた。日本の森について学ぶ「木育」のきっかけにもつながる。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

**アンバーアワー
「ORIKAGO」**

アフリカ農村部の女性たちと作るかご

ケニアに自生する植物サイザルを原料にした収納かごで、幅広い色、デザイン、サイズを展開。衣類入れやペンケースなどさまざまな使い方ができ、脱プラスチックを促す。ケニアの農村部に自社工房を設け、約250人の女性たちと製品づくりに励む。伝統的な手織り技術など、簡易な作業工程を維持することで、誰でも参加できる仕組みを形成した。

**alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021**

保湿クリームに無農薬の和ハーブ

アムリターラ
「エイジソリューションクリーム」

地産地消や産地支援に根差し、できるだけ農薬や肥料を使わない原料を厳選している。ニガヨモギ、桑の葉、ドクダミなどの和ハーブをオリジナルエキス化。クリームに含まれるニガヨモギ、ローマンカモミール、ホワイトローズマリーは、自社農園で農薬も肥料も使わずに育てている。同社の他製品も含め、2021年3月末から使用済み容器を直営店で回収し、リサイクルも始める。

ハブラシ・リサイクルプログラム

ライオン サステナビリティ推進部
「ハブラシ・リサイクルプログラム」

歯ブラシの資源循環構築へ

使い終わった歯ブラシを回収し、植木鉢などのプラスチック製品として再資源化するプログラム。歯ブラシは使い続けると汚れを落とす効果が低下するため、月に1度の交換が望ましいという。そこで、歯ブラシを資源循環させることで、環境貢献と口腔衛生を両立できる仕組みづくりを目指す。

「ライフ」発の自然派スーパー

食品スーパー大手のライフが展開するナチュラルスーパー・マーケット。大阪市と東京・吉祥寺に出店している。「オーガニック」「ローカル」「ヘルシー」をコンセプトに商品を展開し、丸井吉祥寺店では「顔の見える野菜」として、オーガニック野菜の生産者の顔写真入りのPOPを掲示する。紙製ストローや木製スプーン、竹製割りばしなどを採用し、プラ削減にも取り組む。

森林保全につながる和楽器のCD

和太鼓、箏、尺八、篠笛、三味線など和楽器のみで構成し、世界25カ国で単独公演を行った「AUN J クラシック・オーケストラ」のアルバム。森をテーマにした9曲を収録。売り上げの一部を山梨県笛吹市の植樹活動に寄付し、ブナ、ミズナラなど地元植生の広葉樹を伐採跡地に植えて水源林を育てる。CD発売にあたって50本を植樹するほか、CD 1枚に植樹 1本が寄付されるセットも発売する。

Innovation Design 「とれたて魚と野菜の小料理 KIGI!」

レストランで食品ロスを啓発

食品ロスを削減するためのユニークな施策を開発。例えば、提携する農家で野菜が取れすぎた時や販いを作りすぎた時に、1品を「OSUSOWAKE(おそそわけ)」として無料で提供する。店舗で発生した生ゴミはコンポストで肥化し、有機野菜を育て、その野菜を使った料理を提供し、食資源の循環を進める。週に1日だけ菜食を実践する「ミートフリーマンデー」も実施。

料理の価格利用者が決める

食を取り巻く社会課題を知ってもらうために、料理の価格を設定せず、学びの対価として利用者が価格を決めるレストラン。三重県の二木島漁港から、市場には出回らない魚も含めた鮮魚を仕入れて料理を提供する。正規品も規格外も同等に仕入れ、規格外の野菜が廃棄されている現状なども伝えている。その日の食材でメニューを考案することで食品ロス削減にも貢献している。

トイレや排泄のイメージ変える

学校のトイレで排泄するのが恥ずかしいと、我慢する子どもたちは少なくない。そこで王子ネピアは2007年、日本トイレ研究所とともに、排泄から健康や環境、社会との関係性などを学べるプログラムを開始。累計2万人以上の子どもたちが参加した。小学校で「うんち教室」を行うほか、小学校の養護教諭を対象にした「うんち教室研修会」などを無償で実施。2021年度からは小学校中高学年向けの新規プログラムを開始する予定だ。

離島の自然でアクセサリー

kikirico
「kikirico」

有数の真珠の産地である壱岐島の自然物を使用したアクセサリーブランド。アクセサリーの製作に用いる「パロックパール」はそれぞれに歪みがあり、唯一無二のデザイン性や希少性に惹かれる人も多い。カキ殻を釉薬にした焼き物、島の飲食店から出た天然のアワビの殻、海岸で集めた貝殻やシーグラスなども活用している。売り上げの一部を環境NGOのJEANに寄付している。

課題解決目指すおみやげ店

Innovation Design 「haishop」

商品は「日本で作られたもの」と「社会課題解決につながるメッセージが込められているもの」を基準に選んでいる。商品を通じて社会課題を知ってもらい、ライフスタイルを変える機会の提供を目指す。輸送で生じるCO₂を抑制し、日本経済を支るために日本製にこだわる。障がい者就労支援施設との連携なども進める。

竹製歯ブラシで脱プラスチックに貢献

BALIISM
「バンブー歯ブラシ」

柄の部分に100%天然の孟宗竹を使った竹製歯ブラシ。ブラシ部分は、植物由来のひまし油から生産されたバイオマスブラシを採用し、脱プラスチックに貢献している。毛質はやわらかく、やさしい磨き心地と毛先の細かさが特徴だ。温かみのある手触りと見た目で、洗面台にそのまま置いても生活感が出ず、インテリア性もある。しっかり握れる円筒形状とオーソドックスな平型形状の2種類。

繰り返し使える竹製ストロー

BALIISM
「バンブーストロー」

バリ島の計画伐採地区で採れた高品質の竹を使ったストロー。現地の職人が一つずつ手作りしている。サイズはノーマル、子ども用のミニサイズ、タピオカ用の3種類。自然素材の持つ暖かみのある質感が特徴だ。繰り返し使える竹ストローは分解性があるので自然に還る。世界的に展開しているラグジュアリーホテル・アリラホテルグループや日本のカフェで採用されている。